

1-⑤
まん延防止等重点措置（改訂）道案について、内容については了承する。メッセージが広く道民の皆様に行きわたるよう報道機関や179市町村の協力をいただき発信をお願いする。
また、札幌市及び今回新たに措置区域に指定される行政区への往来は「自粛」を求めている、鈴木知事からの強いメッセージでの発信をお願いする。

1-⑥
感染者の急増を踏まえ、対策を強化することは当然であると考えているが、全道域で感染が拡大する中、この度の見直しにおいて、まん延防止等重点措置区域を石狩管内全域及び小樽市とすること、さらに今後、どのような状況になった場合に措置区域の追加等見直しを行うのかについて十分な説明を行い、改めて道民に理解と協力を求める必要があると考える。

1-⑦
道案に賛成、特に意見なし。

1-⑧
措置区域の追加、期間、内容と現行の措置内容の変更について、道の提案で良い。

1-⑨
道の改定案について異論なし。札幌市においては、人流も平常時と同レベルまで戻っており対策の効果が薄れてきている。緊急事態宣言と同様の対策を施しているが、緊急事態宣言の発令とより強く自粛を求める施策が必要ではないか。

2 市町村・関係団体の意見

2-①
道内のみならず、全国的に感染拡大が続いている状況にある。道内での往来、他都府県との往来を抑制するが、国に対しては、引き続き緊急事態を底し、徹底した緊急事態の宣言の適用を強く訴えていく。また、デルタ株の今後、特措法の改正も含め、各種対策の検討や、更に強い措置を求め、再度、求めていくよう対応をお願いする。

2-②
これまでも緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の名のもとに数々にわたる対策が講じられてきたが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の効果が十分に発揮されていないとの認識がある。札幌市においては、市内の人流は減少しているものの、一日の新規感染者が200人を超える日が続き、歯止めが掛かっていない」との認識がある。札幌駅周辺及びすすきの駅周辺の人数は、足元の短期的な変動ではなく、前回の緊急事態宣言前との比較など、より長いスパンでの変動も考慮し、新規感染者が減少する状況にはないことを強調すべきと考える。

全道に於ける新規感染者数が増加しており、感染拡大が顕著となっており、北海道は、重点的な対策を講じている。札幌市においては、管内一律に同じ対策を講じる必要性について、丁寧な説明が必要と考へる。また、小樽市について、重点的な対策を加えることには、札幌市との通勤往來の多さなど丁寧な説明が必要と考へる。

2-③
道案に対する意見なし。
道民・事業者の道に対する信頼感を醸成し、各種協力要請の実効性を高めたい。道が主体的に取り組む対策の漏れのない実施を求めたい。また、専門家や有識者の知見を最大限に活かし、より対策の理解が得られるよう、道の資料取りまとめや情報開示・発信のあり方を見直すべく検討願いたい。

国分科会における議論や基本的対処方針はもとより、本道の地域実情に応じた追加対策を期待したい。

今回から、ワクチンの配分量については、道の裁量で決定できることとなった。感染者の7割を占める札幌の感染拡大抑制に向けた、配分量の考察を願いたい。

また、30歳代以下の世代が、新規感染者のうち6割を超えることから、この世代に対する接種のスピードアップを図られたい。

2-④
まん延防止等重点措置により、社会経済活動に多くの負担を課している中、医療提供体制の確保に向けては、今後も、しっかり取り組んでいきたい。

道民・事業者の道に対する信頼感を醸成し、各種協力要請の実効性を高めたい。道が主体的に取り組む対策の漏れのない実施を求めたい。また、専門家や有識者の知見を最大限に活かし、より対策の理解が得られるよう、道の資料取りまとめや情報開示・発信のあり方を見直すべく検討願いたい。

国分科会における議論や基本的対処方針はもとより、本道の地域実情に応じた追加対策を期待したい。

今回から、ワクチンの配分量については、道の裁量で決定できることとなった。感染者の7割を占める札幌の感染拡大抑制に向けた、配分量の考察を願いたい。

また、30歳代以下の世代が、新規感染者のうち6割を超えることから、この世代に対する接種のスピードアップを図られたい。

2-⑤
今回の「まん延防止等重点措置」の対象地域拡大とそれに伴う措置は、
やむを得ないものを受け止めるが、足元では新規感染者数が500人に迫
る等、改めるとも、今までのように強い危機感を持って感染防止対策を講じてい
く必要がある。また、東さくせいの抑制と感染防止対策の周知徹底を図っていくが、
感染拡大を収束させる働きを進め、現役世代への接種を加速化するよう願
いしたい。
今回、新市を強化に見合った、酒類提供自粛要請が課せられる石狩管内市町
村・小樽市の対策の強化に合わせた、万全の支援策を迅速に講じるよう重
ねてお願いする。
また、国において中等症の取り扱いに関する議論もあり、道民の関心
も高まっている中、感染防止対策への協力を得ていくためには、道民の
事業が重要である。この点に関して7月26日の有識者会議の場におい
ても発言関係に関する仮に病床数の拡充が必要な場合は、迅速に対応
したい。
北海道は他府県に比べて広大であり感染状況も地域ごとに異なるこ
とや、他都府県より長期間に渡って新型コロナウイルス感染症の影響
にさらされ、経済活動のバランスのとれたきめ細かな対策を引き続き願
いしたい。

2-⑥
道案に対する意見なし。
再延長となることのないよう、徹底した対策による短期間での抑止を
求める。